

2026年2月13日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

在宅医療を受ける高齢者における便秘の実態とその要因について

2. 研究責任者

海南病院 老年内科 野々垣 禪

3. 研究の概要

便秘は高齢者において高頻度に見られる症状であると同時に、食思不振、うつ、せん妄合併など QOL（生活の質）の低下と関連することが示されており、便秘症状の評価及び治療はとても重要な課題である。これまでの研究で地域在住高齢者や慢性期病院入院患者さんを対象とした便秘に関する報告は散見される一方で、在宅医療を受ける高齢者、特に訪問診療や施設入所下で継続的な医療介護を受けている高齢者における便秘の有病率や治療の実態、便秘の要因については十分に明らかにされていない。本研究は在宅医療を受ける高齢者に対して、カルテ、看護記録をもとに、基本属性（年齢、性別、ADL（日常生活動作）、既存症、内服薬）、排便回数、便性状（Bristol Stool Scale）、使用便秘薬についての調査を後方視的に行い、便秘の実態とその要因を明らかにするものです。

4. 研究方法

①対象となる患者さん

2025年1月1日～2026年1月31日までに訪問診察を受けた患者さん。2026年2月1日以降に訪問診察を受けた患者さんについても、適宜データの集積を行う予定です。

②使用する試料等

残余検体：なし

カルテ情報：基本属性（年齢、性別、ADL、既存症、内服薬）、排便回数、便性状（Bristol Stool Scale）、使用便秘薬についての情報

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 老年内科 野々垣 禪
電話：0567-65-2511（代表）